

令和6年度

地域福祉学習事業実績報告

町内の各小中学校(5校)を指定し、地域ぐるみで生徒・児童を守り育てようとする取り組みを支援することにより、共に支えあう地域社会づくりを推進することを目的に「地域福祉学習事業」を実施しています。(この事業は、共同募金の配分を受けて実施しました。)

神戸小学校

目的

様々な障がいがある方や高齢者の方とふれあう活動を通して、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立つて行動する。

内容

- ①「あすチャレ!パラアスリートから共生社会を学ぶ。」
・車いすバスケットボールの講話
・車いすバスケットボールチーム対抗戦 3試合
- ②高齢者疑似体験キッズセット(杖)
- ③バラの土、培養土
- ④用紙代

成果

5年生の総合的な学習の時間で「ふれ合い・学び合い私たちの福祉活動」のテーマで学習を行った。様々な障がいのある方とふれあう活動や高齢者体験活動を通して、誰に対しても思いやりの心や相手の立場になって行動することができた。



▲ 高齢者疑似体験



▲ あすチャレ! スクール

下宮小学校

目的

様々な人とのふれあいや体験的な活動を通して福祉について学び、福祉の心を養い、進んで福祉活動に参加しようとする態度を育てる。

内容

- 福祉に関する体験活動、ふれあい活動
- ・「あすチャレ!スクール」実施
- ・高齢者、障がいの疑似体験
- ・デイサービスセンター訪問と交流活動
- ・異学年集団
- ・幼児園訪問と交流活動
- 栽培活動
- ・花壇への苗植え、水やり、施肥等の世話



成果

・高齢者や身体障がい者の疑似体験活動を通して、高齢者や身体障がい者が日常生活を送る中での不便さを感じ、誰もが幸せに暮らすことができ世の中を実現するための学習課題をもつことができた。

・パラアスリートの「ゴールボール」や「ボッチャ」の体験をしたり、講話を聴いたりすることを通して、思いやりの気持ちや夢をもつて強く生きていこうとする気持ちをもつことができた。

・異学年でのふれあい活動や幼児や高齢者とのふれあい活動を通して、他者への思いやりの気持ちを高めることができた。

・栽培活動を通して、命あるものを大切に育てる気持ちや美しい環境をつくることとする気持ちを育てることができた。



南平野小学校

目的

福祉活動を積極的に推進し、福祉教育の充実を図る。

内容

○「心の教育」推進活動

・3年生理科の学習では、モンシロチョウの幼虫の観察を行い、命の不思議さや大切さを学んだ。

・3年生総合的な学習の時間「神戸博士になろう」の学習で、大垣市加賀野池へ出かけ、ハリウオの生態を学んだ。自分達の住む地域の川や自然環境を守っていききたいという意欲が高まった。

・バラや野菜の水やりや収穫を仲間と協力して行うことができた。また地域の方も栽培に協力してくださっていることにも気付き、地域の方への感謝の気持ちが育まれた。

○福祉学習

・5年生児童は、総合的な学習の時間「共に生きる」の学習で、日本財団パラスポーツサポートセンターが主催する「あすチャレ!スクール」に参加した。パラリンピアン永尾嘉章さんから、車いす陸上競技の経験をもとに「あきらめない大切さ」や「夢をもって生きることの大切さ」を教えていただいた。児童らは「高齢者福祉や「障がい者福祉」で学んだこととつなげて、いろいろな人たちが「ともに生きる」ために自分ができることは何かについても真剣に考え、できることを実行していききたいという意欲をもった。

成果

・生き物や野菜を育て収穫する活動を通して、生き物の命の尊さに触れたり、仲間との協力して活動することの楽しさを味わったりすることができた。

・ハリウオの生態や地域の歴史的な神社などを学習することで、自然を大切にしようとする心やふるさとを愛する心が育まれた。

・あすチャレ!スクールでパラスポーツについて学ぶことで、難しいことにも一緒懸命取り組むことやいろいろな立場の人々と「ともに生きる」ためにできることを考え、行動していくことの大切さに気付くことができた。



▲ モンシロチョウの幼虫観察



▲ 大根の収穫



▲ あすチャレ!スクール パラスポーツ体験

北小学校

目的

・地域の方や高齢者、障害のある方とのふれあいを中心とした福祉学習を意図的・計画的に工夫し、実践することです。他を思いやる心を育てる。学校、保護者、地域との連携がより強化され、地域全体で支え合う温かい絆づくりを推進する。

内容

○お世話になった方々への感謝活動や環境活動

- ・ビオラの栽培活動
- ・生ゴミリサイクルによる土作り活動
- ・みかんの収穫
- ・校内花壇、果樹園、畑整備等
- 授業(総合的な学習・生活科・クラブ等)での地域の方とのふれあい活動
- ・バラづくり(講師)
- ・野菜や米づくり(講師)
- ・和太鼓の演奏活動(講師)



成果

・地域との連携により、教育活動のより一層の充実が図られ、北地区全体で支え合う温かい絆づくりが推進できている。

・体験活動の充実を通して、「間接体験」や「疑似体験」では得られない感動や驚きを味わい、自ら学ぶ意欲が育ってきている。

・なかよし学級では、和太鼓演奏の活動を通して、リズム感を体全体で覚え表現したり、意欲的に集中して活動に取り組んだりする姿が見られている。



神戸中学校

目的

・地域の清掃、行事への参加、ボランティア活動への参加等を通して、感謝の心、地域の一員としての自覚がもてるようにする。

・農作物や植物を育て、それを役立てることを通して、生命を大切にすることを育てる。

内容

- ① 社会福祉協議会主催 もちのき園 夏季ボランティア
- ② 神フェス バザー出店
- ③ 交流用野菜栽培
- ④ もちのき園との交流事業
- ⑤ 交流用鉢花



▲ もちのき園 夏季ボランティア

成果

- ① 夏季ボランティアとして、もちのき園でシャボンフラワー制作を開催した。希望した参加生徒は所生と交流しながら、一緒に制作活動を行い、ふれあいを楽しむことができた。
- ② 特別支援学級の生徒が居住地交流の生徒や学校職員との交流を行うために、サツマイモや大根等の苗を植えた。収穫した野菜で調理実習したり、プレゼントをしたりするなど、生活単元の一環として畑での活動を行った。
- ③ 神戸町主催「神フェス」に特別支援学級のブースをいただき、物品の販売を行った。アイコンビーズを使った商品の作成や現地でのお客さんとのやり取り、販売会計等を体験することができた。
- ④ もちのき園との交流でクリスマスリースを作成しプレゼントした。作成する喜びや渡した時の笑顔を感じることができ、有効な事業であった。
- ⑤ 卒業式に飾る鉢花を、「もちのき園」「たんぼぼ学園」に寄贈する。この交流を継続することで福祉への意識を高める。



▲ 神フェス バザー出店



▲ 交流用 野菜栽培



▲ たんぼぼ学園との交流事業 クリスマスツリーづくり